



良くないときほど

校長 逢坂 一郎

2025年MLBは大谷選手の所属するドジャースが2連覇を果たしました。最後のブルージェイズ戦は第3戦に延長18回で決着、最終の第7戦も延長11回まで死闘を繰り広げての決着でした。日本人の大谷選手、山本選手、佐々木選手もそれぞれ活躍しましたね。大谷選手は、このポストシーズンでずっと調子が良かったかというそうではありませんでした。ポストシーズン第1戦のレッズ戦で2本のホームランを打ちましたが、その後8試合ブルワーズとの第3戦まで33打数4安打打率0.121という不振に陥ってしまいました。しかし次の第4戦で3打数3安打、その後のブルワーズとのワールドシリーズでは第3戦で4打数4安打2本塁打とするなど7試合で27打数9安打打率0.333と復活し、ドジャースの連覇に貢献したのです。すごいですね。でも、大谷選手はどうして不振だったのに復活できたのでしょうか。その要因は大谷選手が自分なりの打撃理論をしっかりとっていたこと、自分のことを良く知っていたこと、そして、自分に自信をもっていたことだと思います。大谷選手は、自分の打撃のどこが良くないのかを見つめ直し、タイミング、フォーム、狙い球など視点を変えながら改善点を考え、自分を信じて、できることに集中して取り組むことで打撃不振から抜け出せたのです。

アメリカン・リーグ

ブルージェイズ	3
ヤンキース	2
レッドソックス	1
ガーディアンズ	1
タイガース	2
マリナーズ	3

ナショナル・リーグ

ブルワーズ	3
カブス	2
パドレス	2
ドジャース	1
レッズ	2
フィリーズ	0

良くないときにどうするか。これによってその後は大きく違います。大谷選手が、「今から改善してもどうせ打てない。」「投手が良すぎたから打てなくて当たり前」などとあきらめていたら最後の復活はなかったでしょう。私たちも同じです。良くないときに「何をやってもダメ、どうせできない」とあきらめたり、「自分はやっているのに●●のせいで」など原因を自分以外のことばかりに求めたりしていると何も解決できません。良くないときほど自分自身を振り返り、もっと改善することや努力することはないか様々な視点から考え取り組むことが大切です。そしてもう一つ、自分を信じることです。一つ二つうまくいなくても自分はどうせダメだと思わないことです。誰にだって苦手や欠点がありますが、それはその人にとってほんの些細なことです。その苦手や欠点の何倍もの良い所があるのです。自分の良い所を思い出しながら、自分を信じて取り組んでいくことが大切です。

「ピンチはチャンス」と言いますが、良くないときを乗り越えた時に人は大きく成長します。私も困難や良くないときほど、しっかりと考え、取り組んでいきたいと思います。

子どもたちの様子

<10月9日（木） 持久走記録会>

雨天のため1日順延しましたが、秋晴れの空の下、持久走記録会を行いました。一人一人が自己記録の更新を目指して、練習の成果を発揮しようと全力で走りました。走り切った達成感は格別でした。保護者の皆様、たくさんの応援ありがとうございました。



<10月16日（木）・17日（金）6年生 修学旅行>

今年度の6年生は、10月に1泊2日で佐渡へ修学旅行に行ってきました。1日目は、西三川ゴールドパークでの砂金採り、矢島・経島でのたらい舟・イカ裂き、たたこう館での太鼓を体験しました。2日目は、きらりうむ佐渡や佐渡金山、トキの森公園を見学しました。天候の心配がありましたが、予定の活動を全て行い、思い出をたくさん作りました。



<10月26日（土） 月潟小・中合同文化祭「月輝祭」>

昨年度に引き続き、月潟中学校区で合同文化祭「月輝祭」を行いました。今年度は、5・6年生が月潟中の音楽発表会に参加し、月潟小学校の校歌と「ビリーブ」をみんなで声を揃えて精一杯歌いました。また、1～4年生は、月潟中の広い食堂を借りて図工活動でコップを組み合わせて様々な作品作りを楽しみました。



「月潟小ブログ」

日々の学校の様子をブログで公開しています。

是非、お気に入りへの登録をお願いします。

<https://blog.city-niigata.ed.jp/tukigatainaho/>

